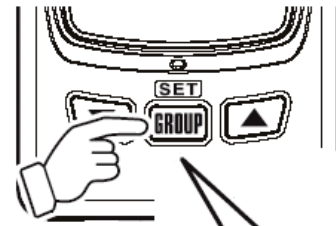
DJ-P221 その他の機能

●デュアルオペレーションモード

メイン/サブの 2 つのチャンネルを 1 秒ごとに交互に受信し、そのどちらとも通信することができるモードです。
あらかじめサブ側をメモリー登録しておく必要があります。

①サブ側をメモリー登録する

サブ側に設定する内容(チャンネル、トーン番号など)表示中に【GROUP】キーを約 2 秒押します。

→「b writE」と表示され、サブ側にメモリー登録されます。

注）サブ側をメモリー登録する際は、セットモードの EmG 項目（緊急通報機能）は OFF にしておいてください。登録後は緊急警報機能を使うことができます。
但し、チャンネルの状態にかかわらず緊急通報は常にメイン側で発報されます。

②メイン側を設定する

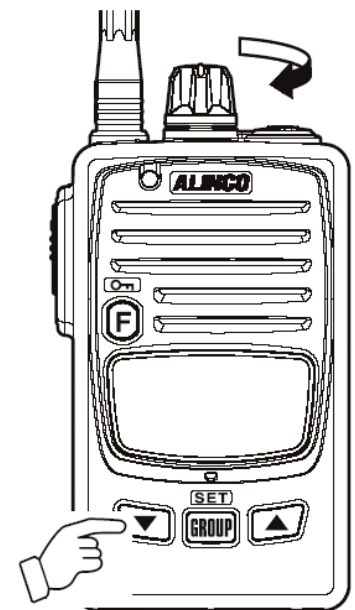
メイン側に設定する内容(チャンネル、トーン番号など)を合わせ、【PTT】キーを 1 回押します。

③電源を切る

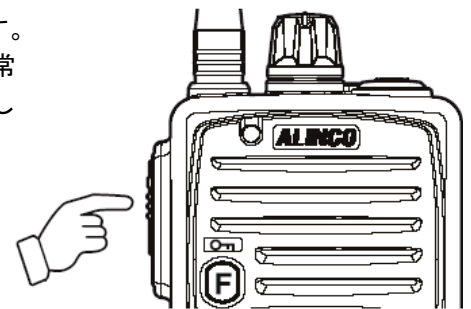
④デュアルオペレーションモードにする

【▼】キーを押しながら電源を入れます。

→「dUAL」と表示され、メイン側を「A」、サブ側を「b」として交互受信がスタートします。信号を受信すると交互受信が停止し通話することができます。

注）メイン側/サブ側が同じチャンネルの場合、「E」表示が点滅しデュアルオペレーションは動作しません。

⑤送信する

【PTT】キー一度押しでメイン側、二度押しでサブ側を送信します。
デュアルモード運用中は、PTT を押してから送信されるまで、通常時よりも時間が掛かります。PTT を押してから、一呼吸置いて話し始めてください。

→通話が終了し約 5 秒経過で交互受信を再開します。

⑥デュアルオペレーションモードを終了する

電源を入れ直します。

メモ）電源を入れ直してもデュアルオペレーションモードで起動させるにはキーロック（【F】キー約 2 秒押し）をかけておきます。

●リモコンモード

中継器の設定（チャンネル、トーン番号など）を遠隔操作で変更することができます。
中継器 DJ-P101R、DJ-P111R に対応しています。

①リモコンモードにする

【▲】キーを押しながら電源を入れます。

→「rEnCon」と表示されたあと「r」が点滅します。

②転送する内容（チャンネル、トーン番号など）を設定する

③転送する

【PTT】キーを約 2 秒押します。

→「ピピッ」音が鳴り、中継器への転送がスタートします。
転送中は「SEnd」が表示されます。

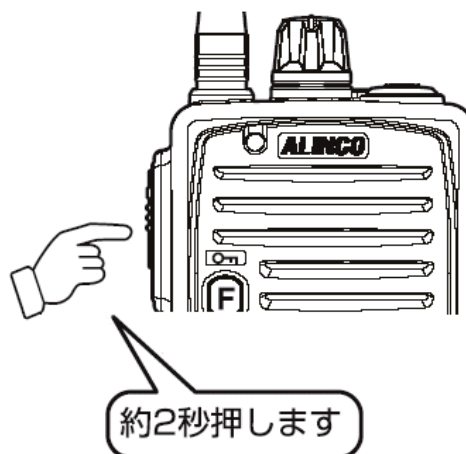
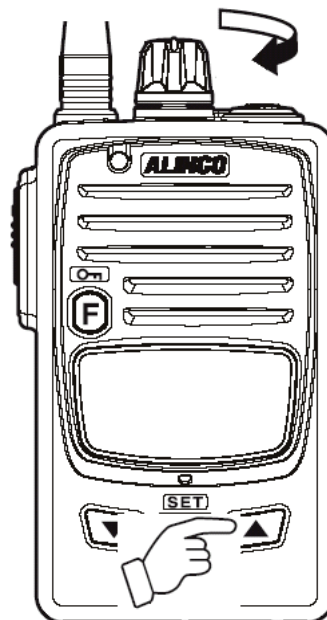
④中継器の電源を入れる

中継器に AC アダプターを接続します。（中継器の取扱説明書をご参照ください。）

→数秒後、転送が完了すると「〇〇〇〇〇〇」が表示され、
本機から「プルル」音が鳴ります。

メモ）転送完了後、中継器は自動的に再起動します。
再起動後 20 秒間は初期化がおこなわれ、その後中継器として使用できます。

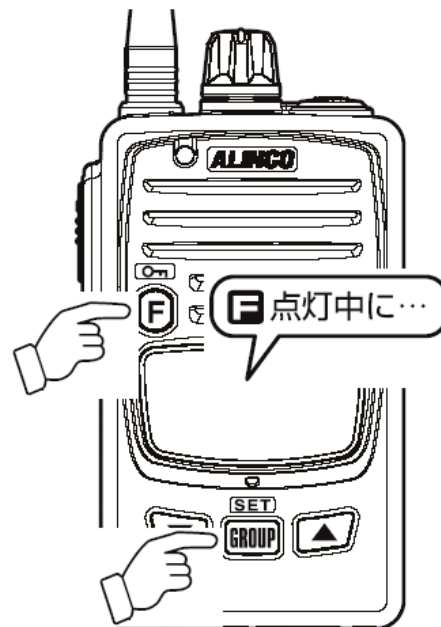
⑤本機の電源を入れ直す

中継通信モードに戻り、中継器を介して通信することができます。

［その他の機能を転送する場合］

必要に応じて、自動接続手順、ハングアップタイマー、アラーム機能の設定を転送することもできます。
（これらの機能説明については、中継器の取扱説明書をご参照ください。）

①セットモードにする（リモコンモード起動中）

【F】キーを押しながら【GROUP】キーを押します。

→「At-on」が表示されます。
【GROUP】キーを押すごとに項目が切り替わります。
「At-on」→「HuP-00」→「AL-oF」

・自動接続手順「At」の設定

初期状態はON に設定されています。
中継器側をOFF にする場合、本機の設定もOFF にしてください。

・ハングアップタイマー「HuP」の設定

初期状態は00(0 秒)に設定されています。
0 秒/0.5 秒/1.0 秒/2.0 秒から選択します。
設定値だけ中継動作を継続します。

・アラーム機能「AL」の設定

初期状態はOFF に設定されています。
ON にすると中継動作の終了を音でお知らせします。

②▲/▼キーを押してON/OFF を選択する

または設定値を変更します。

③【PTT】キーを押して設定を完了する